

外部評価軽減要件確認票

【重点項目への取組状況】

重点項目	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	町内会に加入しこども110番を引き受けている。保育園とは日常的に交流しているが、新型インフルエンザ流行のため、現在は自粛しており、入居者も再会を心待ちにしている。町内清掃にも参加し、ホームではボランティアの協力によるマジックショー、歌謡ショーなどに近所の方を招いている。入居者が無断で外出した時は、行きつけの店や近所の方が電話で知らせてくれる。	
重点項目	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	定期ではないが年6回開催されている。自治会長、保育園長、民生委員、家族、法人福祉部長、施設長始め、その時の議題によって管理栄養士、薬剤師、中学校教諭なども加わっている。ホームの活動や外部評価結果の報告、介護保険、医療連携加算についての説明等されている。地域包括支援センターに参加を要請したが、色よい返事はもらえていない。	
重点項目	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	施設長とは別に法人担当者が行政の窓口となり、月に1度は訪問し、ホームの状況を報告している。今では市の担当者と顔馴染みの関係を築いている。運営面における質問や、入居者の受け入れについての相談、法令等の問い合わせも、変更のたびに確認に向いている。	
重点項目	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	運営推進会議と同時に家族会を開催し、今年度も2回以上開催されている。家族からの苦情、要望は職員に共有され、対応の協議や家族への説明等、一連の経過を訪問時に記録にて確認した。毎月、家族向けのホーム便りが発行され、ホームでの暮らしぶりを伝えるアイテムとなっている。	
重点項目	その他軽減措置要件	評価
	「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	
	運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	
	運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	×
総合評価		×

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

大手電機会社を母体とする介護部門が運営しており、つづみの丘以外にもつづみの郷を始め複数のグループホームを運営している。大手企業のノウハウを活かし運営推進会議でもただ集まるのではなく、来てくれたメンバーのためにも毎回必ず会議で結果を出す努力をしており、そのため基本のメンバーだけでなくその議題に合わせた人材にも参加してもらい改善につなげている。運営する他のグループホームとは人材の交流、共同のイベント、ノウハウの蓄積等協力し合っている。地域密着に力を入れておりホーム便りも家族向けとは別に地域向けにも作成し、自治会長始め地域の人々が運営推進会議のメンバーとなっている。

1. 外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件 における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	（例示） 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	（例示） 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	（例示） 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

（注）要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。